

概要版

FASHION LAW

GUIDEBOOK 2023

ファッション未来研究会 ～ファッションローWG～

ファッションビジネスの
未来を切り拓く新・基礎知識

- I. ブランドを立ち上げたらまずやるべきこと
- II. ファッションデザイナーの権利について知っておくべきこと
- III. プロモーション・広報を外部クリエイター等に依頼する際に気を付けること
- IV. 生産・流通について知っておくべきこと
- V. サステナビリティについて知っておくべきこと
- VI. 海外でのビジネスを検討する際に知っておくべきこと
- VII. デジタルファッション領域にチャレンジするとき知っておくべきこと

はじめに

このガイドブックは、ファッションブランドやデザイナー、若手クリエイター、ファッションを志す学生などの皆さんがビジネスを展開するにあたって、ファッションローの観点からぜひ知っておいてほしい内容を実用的なチェックリストにまとめたものです。

グローバル化が進展し、NFTやメタバースなど新しいテクノロジーが登場したり、サステナブルへの機運が高まるなど、ファッションを取り巻く環境は大きく変化しています。ファッションビジネスを展開するためには、こうした変化に柔軟に対応することが必要です。

このガイドブックでは、ファッション分野の案件を取り扱っている弁護士・弁理士が中心となり、ファッション関係者の皆さんから実際に御相談いただく「あるある」トピックを取り上げています。

ぜひ、ファッションビジネスをさらに展開する際の武器や道しるべ、転ばぬ先の杖として御活用ください。

このガイドブックは、経済産業省の主導で、「これからのファッションを考える研究会～ファッション未来研究会～」の下に設置された「ファッションローワーキンググループ(WG)」での議論を踏まえて取りまとめたものです。

ガイドブックの使い方

ガイドブックには、こちらの概要版とガイドブック本体の2つがあります。概要版では、「ブランドを立ち上げたらまずやるべきこと」「ファッションデザインの権利について知っておくべきこと」など7つのテーマにわけ、知っておいてほしいポイントをチェックリスト形式でまとめています。ガイドブック本体では、チェックリストに加えて、それぞれの解説を記載しているほか、「著作権とは?」、「契約とは?」といった基本的な用語を説明する「Basic」、役に立つリンク先などをまとめた「Reference」、少し深い知識や発展的なトピックをまとめた「コラム」なども含まれています。ガイドブック本体は[こちら](#)、又は以下より御覧ください。



使い方は自由ですが、こちらの概要版は普段使いのチェックリストとして手元に置いておき、気になったポイントなどはその都度ガイドブック本体で詳細を確認するなどして御活用ください。

ファッションローとは

ファッションローとは、ファッション産業やファッション業界に関わる様々な法律問題を取り扱う法分野をいいます。

グローバル化やデジタル技術などの発達を背景として法分野として確立されたもので、近年注目を集めています。

✓ CHECKLIST

I. ブランドを立ち上げたら まずやるべきこと

1. ブランド名を商標出願・登録しよう

CHECK!

- ブランド名を決めるときは商標登録しやすいかどうかを意識しよう
- ブランド名を決める前に
他のブランドに商標登録されていないことを確認しよう
- 商標を使用するアイテムを決めよう
- できるだけ早めに出願しよう
- 「まずは日本」、でも中国も早く出願しよう

II. ファッションデザインの 権利について知っておくべきこと

2. 自分たちのデザインを守ろう

CHECK!

- 日本国内で最初に販売された日から3年間は
そっくりのコピーから守られることを知っておこう
- 意匠登録を検討しよう
- ブランドの顔となるデザインなら、積極的に広告宣伝し、
デザインのブランド化に挑戦してみよう

3. 他社のデザインの権利等に触れないようにしよう

CHECK!

- 有名なデザインには近づかないようにしよう
- 有名でなくても、少なくとも3年はそっくりのコピーをしないようにしよう
- 意匠登録されているデザインと似たデザインはやめよう
- イラストや絵は安易にコピーしないようにしよう

4. 異なる文化のデザインやモチーフ、スタイル、名前を取り入れる際は慎重に

CHECK!

- 「文化の盗用」の問題についてよく知ろう
- 異なる文化のデザインなどの歴史的な背景や社会的な意味をしっかりとリサーチしよう
- 過去の事例を調べ、自分たちのケースと比較してみよう
- 異文化特有のデザインなどを取り入れるときは、その文化への敬意を行動で示そう
- 元の文化を担う人々との協業・共創の可能性も検討しよう
- 自分たちの思いや取組をストーリーとして説明できるように準備しよう
- 公表前になるべく多様なバックグラウンドの関係者の視点でチェックしよう

5. リメイクやアップサイクルについて知っておくべきこと

CHECK!

- リメイク品・アップサイクル品を販売する場合は元の商品の権利を侵害しないように気を付けよう
- タグやマークなど、元のブランドが分かるものは外そう
- イラストや生地プリントなどの著作権を侵害しないように注意しよう
- 新たな品質表示タグなどを付けよう



III. プロモーション・広報を外部クリエイター等に依頼する際に気を付けること

6. 外部クリエイターに仕事を依頼する際の注意点は？

CHECK!

- 信頼できる人や会社と契約をしよう
- しっかり契約書を作ろう
- 契約書の内容は分かりやすく明確に
- クリエイターへのリスペクトを常に忘れず、合理的な条件にしよう
- 締結した契約はちゃんと守ろう

7. ファッションショー、展示会を開催する際の注意点は？

CHECK!

- モデルやスタイリスト等の外部クリエイターとしっかり契約を締結しよう
- 音源や写真素材等の権利処理を忘れずに
- 来場者やメディアに守ってもらいたいルールがある場合はしっかり告知しよう

8. プロモーション用ビジュアルや ショー映像等を制作するときのポイント

CHECK!

- 第三者の著作権などの権利を侵害しないようにしよう
- 第三者から利用許諾を得る場合は
許諾の範囲(利用態様、期間、地域など)を明確にしておこう
- 完成コンテンツの著作権は自社でしっかり管理しよう

9. 意図せず差別的な表現をしてしまわないために

CHECK!

- どのような場合に差別的・侮辱的表現として
問題となるかを理解することから始めよう
- 特定のバックグラウンド(人種・ジェンダー・年齢・体型・障害など)を
差別・侮辱していると受け止められやすい
表現とならないように注意しよう
- ショーや撮影でのモデルのバックグラウンドの偏りを
なるべく少なくすることも意識しよう
- 社会的に弱い立場の人々への配慮に欠けた広告表現に注意しよう
- 社会規範の変化や国際社会の動向にアンテナを張り、
意識的に認識をアップデートし続けよう
- 公表前になるべく多様なバックグラウンドからの視点でチェックしよう
- プロモーションの内容について
社会的責任を負うのはブランドであることを意識しよう

10. インフルエンサーマーケティングで 気を付けるべきポイントは？

CHECK!

- ステルスマーケティングへの法規制をめぐる
日本と世界の動向をよく知ろう
- ブランドとインフルエンサーとの関係について
消費者に潔く、はっきりと伝えよう
- 「お金のやり取りがなければOK」、
「阿吽の呼吸ならセーフ」は通用しないことを認識しよう
- インフルエンサーへの依頼の条件を具体的に書面で決めておこう
- 模倣品をデザインしたり買い付けないように注意しよう
- 景品表示法や薬機法等のルールについてインフルエンサーに伝えよう



生産・流通について 知っておくべきこと

11. 卸先や顧客に商品を販売したい！ 売買契約の注意点は？

CHECK!

- “よくある契約”だからこそ契約書を作成しよう
- 重要な条件の内容(商品の内容や数量、納入、代金など)を明確にしておこう
- 有利な条件になるように交渉しよう
- 独占禁止法などのルールに従おう

12. 工場との取引で気を付けるべきポイント

CHECK!

- 製造委託契約書(OEM契約書)を作っておこう
- 仕様や納期などの重要な条件について明確に決めておこう
- サンプルなどの横流しを禁止することも忘れずに
- 海外工場の場合は特に納期や品質などの条件を具体的に
- 環境・人権に配慮した取引先を選ぼう
- 下請法のルールを守ろう

13. ブランドのライセンスビジネスの注意点は？

CHECK!

- ライセンス契約書を作ろう
- ライセンスの対象や範囲を明らかにしておこう
- 独占か非独占かを決めておこう
- ライセンスの対価の条件を具体的に合意しておこう
- デザインなどの権利の帰属や承認プロセスなどの条件も詳細に決めておこう

14. ECサイトを立ち上げるために必要なこと

CHECK!

- 「利用規約」、「特定商取引法に基づく表記」、「プライバシーポリシー」の3点セットを準備しよう
- 「同意する」チェックボックス／ボタンは同意の対象を特定して分かりやすく表示しよう
- 返品特約は分かりやすく表示しよう
- 注文確定画面(最終確認画面)の表示はガイドラインに沿って
- 他社のプラットフォーム／サービスを利用する場合、利用規約などの条件をよく確認しよう



サステナビリティについて 知っておくべきこと

15. サステナブルなブランドを目指すには

CHECK!

- ファッションを取り巻く現状を知り、意識を高めよう
- 環境・人権に配慮した取引先を選ぼう
- 素材や原材料の供給元を把握しておこう
- トレーサビリティと透明性を確保しよう
- リサイクル・アップサイクル・リユースを視野に入れたシステムをつくろう
- 適正な労働環境を整備しよう

16. 「グリーンウォッシュ」に気を付けよう

CHECK!

- 「グリーンウォッシュ」をめぐる日本と世界の動向をよく知ろう
- 環境保全への配慮や効果を消費者にアピールする場合には、
①必ず実証データの裏付けを取り、②明確かつ分かりやすい表現で、
③誇張せずに正確に伝えよう
- あいまいに「サステナブル」、「環境にやさしい」とだけ
アピールすることはやめよう
- 環境に配慮した原材料や素材を強調する場合には、
その使用割合を明示しよう
- 「カーボンニュートラル」、「生分解性」、「リサイクル可能」などの
環境への配慮を示す言葉についても各国でルールがあることを知り、
使用する際は慎重に進めよう



海外でのビジネスを検討する 際に知っておくべきこと

17. 海外に進出する際、ブランド名はどう守る？

CHECK!

- どの国で商標登録するかを決めよう
- 国際商標出願(「マドプロ出願」)について知っておこう

18. 海外においてブランドのデザインを模倣された、 どうすればいい？

CHECK!

- 日本法で対応できるか確認しよう
- 税関の輸入差止めを使ってみよう
- 日本法での対応が難しい場合は外国法での対応を検討しよう

19. 海外においてデザインを模倣されないようにするにはどうすればいい？

CHECK!

- どの国で模倣される可能性があるかを検討しよう
- 重要なデザインは海外での意匠登録も検討しよう
- 取引先との契約の中に必要な規定(横流しの禁止、秘密保持など)を入れておこう
- 事実を確認の上、ウェブサイトでの注意喚起も検討しよう

20. 海外企業との契約ではどこに気を付ければいい？

CHECK!

- 信用できる取引先かチェックしよう
- 必ず契約書を作成しよう
- 契約条件は全て契約書の中に書き切ろう
- 契約交渉をしよう
- 契約書の言語を決定しよう
- 紛争の解決地・解決方法を決定しよう
- どの国の法律を適用するか決定しよう

21. 日本から越境ECを始めるときに気を付けるポイントは？

CHECK!

- どの言語・通貨で商品・サービスを提供するか決定しよう
- 紛争の解決地・解決方法を利用規約で定めておこう
- どの国の法律を適用するか決定しよう
- サービスを提供する国の消費者保護法・個人情報保護法に気を付けよう
- 税金(EUのVAT、アメリカの売上税など)に気を付けよう
- 第三者の権利を侵害しないよう注意しよう
- 他社のプラットフォーム／サービスを利用する場合、利用規約などの条件をよく確認しよう

22. 海外に進出／海外と取引する際、サステナブルの観点から気を付けることは？

CHECK!

- サステナビリティに関連する海外の法律やルールを知ろう
- サステナビリティに関する条項やポリシーを確認しよう
- 自社のコミットメントを策定し、取組を報告・公表しよう
- 国際認証の取得を検討しよう



デジタルファッション領域に チャレンジするときに 知っておくべきこと

23. デジタルファッションを制作・販売する際、
どこに気を付ければいい？

CHECK!

- 誰かが先に商標を出願・登録していないかチェックしよう
- キャラクターのイラストなど第三者がつくった素材を利用するときは、デジタルファッションへの利用を許諾してもらおう
- デジタルファッションを出品する際は、契約・利用規約等に注意しよう

24. ノベルティとしてデジタルファッションを
無料配布する際に気を付けるべきポイントは？

CHECK!

- デジタルファッションについて商標調査・商標登録出願を検討しよう
- 景品表示法上の景品規制(景品の限度額)にも注意を

25. バーチャル試着、メタバース上の展示会・
ショッピングではどこに注意すればいい？

CHECK!

- 商標調査・商標登録出願を検討しよう
- 意匠調査・意匠登録出願を検討しよう
- イラストなど第三者がつくった素材を利用するときは、権利者と許諾契約を締結しよう